

福祉講座(高齢分野)

令和 6 年度県立高校等
チャレンジプロジェクト
＜地域の魅力の発見と発信プロジェクト＞

実施日：令和 6 年 11 月 6 日（水）

◎ 実 施 目 的

- ・介護職員初任者研修養成にあたり、施設サービスの内容、職員の仕事内容、利用者の状況や支援方法を学ぶことで、高齢分野の理解を深め、専門職としての役割を認識する。
- ・地域のために何ができるかという課題意識を持たせ、将来、地域で活躍する人材を育成する。

◎ 講 師

特別養護老人ホーム西山苑 施設長 柏 保男先生



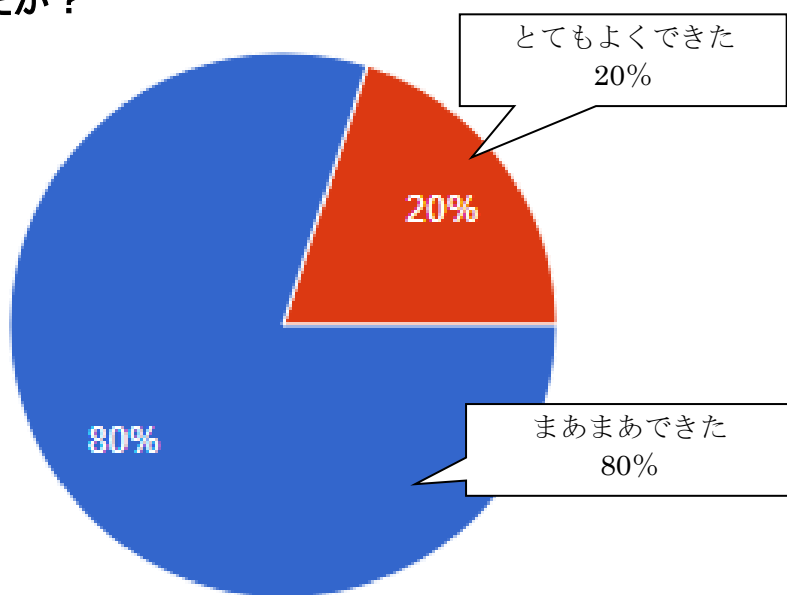
◎ 講 座 の 様 子

＜対象：福祉保育コース 2 年生＞

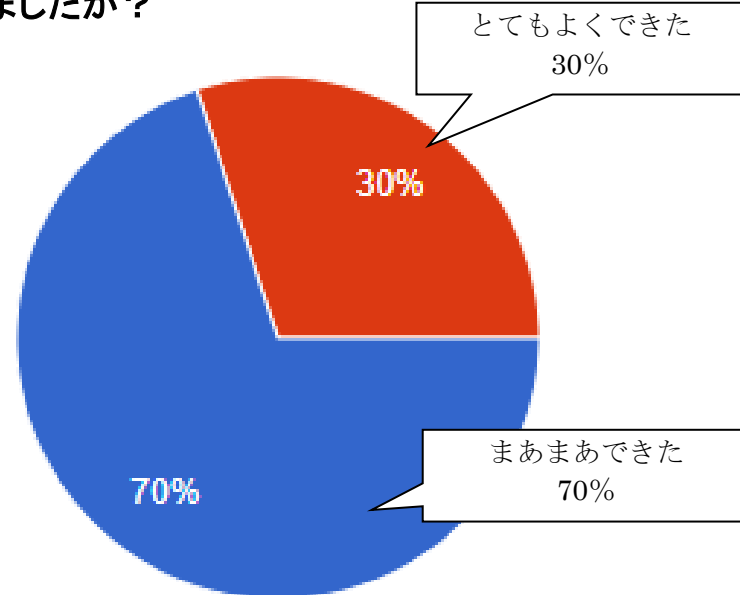


◎ アンケート結果（抜粋）

●利用者の状況や支援方法について理解することが
できましたか？



●専門職としての介護職員の役割を理解することが
できましたか？



～生徒の感想～

- ・高齢者を思う気持ちや個人がもっている病気をしっかり理解することを大事にしていきたいと思いました。
- ・利用者さんをしっかり見ないと命に関わることもあると思うので、忙しい中でも利用者さんに寄り添うことが大事だと思います。
- ・利用者さん本人の意見を尊重し、尊厳を保つことが大切だと思います。
- ・「高齢者には明日は必ず来ない」という言葉が印象的でした。いつ最期の迎えが来るかわからない高齢者のために精一杯介護したいと思いました。
- ・人との関わりはとても大切で、優しさが生まれるとその人の周りの人も優しい気持ちになり、利用者の方も不安やストレスなく生活できると思いました。
- ・介護職についたら、思いやりの姿勢を忘れず、寄り添う気持ちを大切にしていきたいです。
- ・今後は相手の為に何ができるか、何をしたら喜んでいただけるかを考えながら生きていきたいです。